

CAROWAA

CAROWAA ーちゃろわ

アチヨリの言語で「our village」「our home」「our land」といった意味を持つ言葉です。

JICAプロジェクトとともに自分たちの故郷がより発展する、という気持ちを込めて、グルオフィスの現地スタッフが名づけてくれました。

ちなみに配色イメージは北部らしく「ラテライト」です。



インテリムレポート 関係者との意見交換会

3月11日、コミュニティ開発チームが現在作成中のインテリムレポートに関する意見交換会が行われました。プロジェクトを担う各チームは、インセプションレポート(着手報告)→プログレスレポート(進捗報告)→インテリムレポート(中間報告)→ファイナルレポート(最終報告)の順に報告書を作成し、その都度先方政府と進捗を確認するとともに、関係者からの意見を聴取するワークショップを開催しています。今回はインテリムレポート完成前のタイミングで骨子を提示し、内容やコミュニティ開発計画の方向性についてウガンダ側関係者と共有し、意見交換をさらに深めるため、このような会合を開催しました。レポートへのコメントを求めることで、プロジェクトへの関係者のオーナーシップを高めることも意図しています。



インテリムレポートについて発表する
岩本総括



コメントをするアムル県CAO
(Chief Administrative Officer)

当日はアムル県(サブカウンティーも含む)、パデル県、キトゥグム県のほかに、今年1月に新設されたラムウオ県からも20名を超える代表が集まり盛況な会となりました。

参加者からはJICAプロジェクトへの謝意とともにレポート骨子へのコメントが述べられましたが、プロジェクトはアムル県を対象県として実施されているため、アムル県以外の代表からは「自分の県ではいつプロジェクトを始めてくれるのか」という質問も相次ぎ、北部地域全体により迅速な展開を求められていることを改めて感じた意見交換会でもありました。

コミュニティ開発チームではこの意見交換を踏まえてレポート骨子を修正し、3月25日に再度ウガンダ側関係者やドナー、NGOなどを招いて協議を行い、その後インテリムレポートを完成させる予定です。

JICAラジオ番組に出演しました

グルオフィスでは今年2月より、毎週水曜日の夜にラジオ番組「Dongo Lobo Acholi」を放送しています。(ニュースレター第2号参照)これまでアムル県職員、県下のサブカウンティー職員、アチヨリ地域の伝統リーダー、コミュニティ開発チーム・総合開発チーム現地スタッフなどがゲストとして出演してきましたが、3月10日の放送では「JICAグルオフィス紹介」と題して、平井プログラムマネージャー、上田企画調査員がゲスト出演しました。これまでアチヨリ地方の言語であるルオ語での放送を優先していたため、日本人スタッフは現地スタッフの企画を補助する立場でした。しかし「今回は2人を紹介したい」という現地スタッフの熱意に押されて出演することに...

平井プログラムマネージャーはJICAグルオフィスの事業概要と今後の展開について、上田企画調査員はグルの印象や業務上の難点(特に『アフリカ時間』)、ジェンダー状況への考察をユーモアを交えて英語で話し、DJがルオ語に翻訳しながら番組は進みました。リスナーからの電話コーナーでの反応も良く、グルオフィスの広報になったようです。

お世辞にも立派とは言えない小さなスタジオに、今にも台から外れて落ちそうなマイクでの生放送でしたが、DJの瞬発力や時間管理、手際の良さに一同ほれほれ。はじめは「私たちの話題で時間がもつかな」と心配していましたが、DJから次々と飛んでくる質問に答えているとあっという間に番組は終了。最後は短くさえ感じた1時間でした。



番組出演中の
平井プログラムマネージャー(上)と
上田企画調査員(下)



「国際女性の日」 レシピコンテスト開催

3月8日は世界的に「国際女性の日」、ウガンダでもこの日を祝う行事が各地で行われました。コミュニティ開発チームがパイロットプロジェクトを実施するアムル県パボでもサブカウンティ主催イベントが開かれ、その中で、コミュニティ開発チームの協力により、レシピコンテストが開催されました。当日は近隣の地区より26の女性グループが参加し、一斉に調理がスタート。得意の伝統料理に腕をふるい、「味」「清潔さ」「マネジメント」「アイデア」の4項目で順位を競いました。

グルオフィスは審査員として参加しましたが、どのグループも手洗い用の水を用意したり、料理のディスプレイに工夫を凝らしていることにまず驚きました。ただ、参加者にとっては自慢の品々を並べているものの、「ンゴー(豆のペーストとシア油)」「マラクワン(ピーナッツとゴマのペーストと青菜あえ)」、「ポー(ピーナッツとゴマのペーストと青菜あえ)」(下記注参照)、「アケヨ

(青菜炒め)」「ラコロコロ(ごま油の搾りかすとトマトあえ)」など、かなり高カロリーで限られた種類ばかり…。はじめは味わいながら食べられましたが、26組の審査はなかなか厳しく、後半は日本人審査員のみならず、ウガンダ人も苦勞しながらの試食となりました。なんとか審査を終え、1位に輝いた女性グループには調理用鍋10個を贈呈、皆嬉しそうでした。

コミュニティ開発チームによれば、今回のコンテストは今後の栄養改善プロジェクトにつなげる狙いもあり、現地で使用する食材、調理器具や調理方法、また女性グループの活動素地を把握できた点で参考になったということです。

「女性の日」イベントは日頃から家事・育児・農作業などに忙しい女性に楽しんでもらうための催しかと思っていましたが、女性自らがチームで歌や踊りなどを披露しており、ここでは女性自身が自己表現をしながら仲間と一緒に楽しむ日なのだな、という印象を受けました。



司会進行を務めた
コミュニティ開発チーム・近藤団員



試食をする平井プログラムマネージャー



ピーナッツとゴマのペーストをつくる参加者



作品のディスプレイにも気を配った。



調理する女性グループ。鍋ではなく壺を使っている。薪を使うため煙が目にしみる。

(注) 青菜の名前がそれぞれ「マラクワン」「ポー」という違いがあります。

3月の動き

〈総合開発チーム〉

- ・3/1 パイロットプロジェクト1契約締結(下旬に工事開始)
- ・3/中旬 マスタープラン骨子完成
- ・3/23-25 コミュニティへのパイロットプロジェクト説明会および交通安全キャンペーン実施

(コミュニティ開発チーム)

- ・3/12 パイロットプロジェクト契約締結(全5ロット)
- ・3/8, 3/16 レシピコンテスト実施
- ・3/11, 3/25 インタビュレポート意見交換会実施

プロジェクトホームページ開設!

現在ウガンダ北部で実施中の開発計画調査型技術協力プロジェクト「アムル県総合開発計画策定支援プロジェクト」「アムル県国内避難民帰還促進のためのコミュニティ開発計画策定支援プロジェクト」のホームページが3月19日に開設されました。申請をしてから随分待ちましたが、これようやくウェブ上での情報発信もみなさんにできることになりました。現在年度末のため更新作業ができませんが、4月から随時「プロジェクトニュース」を更新していきますので、ぜひご覧ください。URLは次の通りです。

アムル県総合開発計画策定支援プロジェクト
<http://www.jica.go.jp/project/uganda/0901623/index.html>

アムル県国内避難民帰還促進のためのコミュニティ開発計画策定支援プロジェクト
<http://www.jica.go.jp/project/uganda/0901771/index.html>

JICAホームページから入る場合は
ホーム→技術協力プロジェクト→国別取り組み→アフリカ→ウガンダ→各プロジェクトの順となります。